あばれ鳶（1956）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1956/12/12

【解説】
「猫と庄造と二人のをんな」の八住利雄によるオリジナル脚本を「銭形平次捕物控　人肌蜘蛛」の森一生が監督した、いわゆる“鳶もの”の一作。市川雷蔵が悪旗本と対立する火消しに扮している。
“は組”の組長の長五郎は自分の娘お光を、小頭の源太と結婚させようと考えていた。お光も源太に思いを寄せていたが、彼には芸者の小染と将来を誓い合っている。旗本の松平刑部は火消しの方法をめぐって“は組”と対立しており、半次を捕らえたあげく小染を鬼面組の酒宴に連れ出した。二人はどうにか逃げ出すことに成功するが、源太は鬼面組の人間により斬られてしまう。また小染が再びさらわれ、組の纏まで持ち去られたことから“は組”は“い組”“ろ組”とともに立ち上がった。

【クレジット】
監督 森一生
製作 武田一義
企画 浅井昭三郎
脚本 八住利雄
撮影 本多省三
美術 西岡善信
音楽 鈴木静一
出演 市川雷蔵
瑳峨三智子
林成年
近藤美恵子
黒川弥太郎
中村玉緒

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.